

科目名	言語学			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	30回	時間数	60時間 (2単位)	配当年・時期	言語聴覚士科1年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
STIにとって必要になることばの知識を習得する。								
〔授業全体の内容の概要〕								
ことばの音声・文法・意味・社会的機能の側面を特に重視し、国家試験の過去問題も解きながら、ことばに関する理解を深める。								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕								
国家試験の過去問題を解けるレベルまで実力をつけること。								
回数	講義内容							
1	ことばとは何か							
2	記号としてのことば							
3	子音と母音・有声と無声							
4	子音の調音方法							
5	子音の調音方法調音位置							
6	IPA記号の練習							
7	母音の調音について							
8	モーラと音節							
9	韻律構造について							
10	東京方言のアクセント体系							
11	アクセントとイントネーション							
12	音素という概念							
13	相補分布と最小対							
14	音声に関する規則性							
15	前期の授業のまとめ							
16	形態素について							
17	複合語の構造							
18	形態音韻論							
19	日本語の各種形態現象							
20	ことばの構造							
21	生成文法の考え方							
22	文法構造と音韻現象							
23	意味について							
24	論理と意味							
25	新情報と旧情報							
26	格助詞と副助詞							
27	終助詞の機能							
28	言語の社会的機能							
29	言語の変異							
30	言語学のまとめ							
【 準備学習・時間外学習 】								
【 使用テキスト 】								
書籍名			著者名			出版社		
【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】								
試験、100点満点で評価する。								